

今年度は、これで最後のインフォメーションになります。今号では、これまでのインフォメーション等で触れてきたポイントを索引的にご紹介しますので、来年度の実施に際して、見返していただくなど参考にしていただければと思います。

「SCOUTING」2021年3月号(No.742)P12～P15

- ①参加者の事前アンケートから見えてきたこと
- ②取り組み事例から考える体験活動のポイントー愛媛県連盟西条地区の取り組み
 - ・地域資源の有効活用①会場の立地と交通利便性
 - ・地域資源の有効活用②企業とのタイアップ
 - ・スカウトを中心とした運営
 - ・新型コロナウイルス感染症対策
- ③取り組み事例から考える体験活動のポイントー岡山連盟西大寺1団の取り組み
 - ・時間の有効活用と親しみやすいセレモニー
 - ・ビーバー、カブ年代に分かれて活動
 - ・保護者にも子どもと同じ体験活動を提供
 - ・入団に結びつけるために大切なアフターフォロー
- ④団支援・組織拡充委員会考えるポイント
 - ・「スカウト運動普及のため」にするか、「新規加盟員獲得のため」にするか
 - ・「スカウト運動普及のため」に本事業を実施する場合の留意点
 - ・1つの学校等に対して個別に複数の団がチラシの配付を依頼しない。

「SCOUTING」2021年7月号(No.744)P10～P11

- ①「自然体験あそびを」数字で振り返る(2020年度実施分について)
 - ・実施会場数
 - ・参加した子どもの数
 - ・入隊に結び付いた事例数
 - ・その他の興味深い数字
 - ・ボーイスカウトの認知度
 - ・保護者が我が子に身につけて欲しい力

「SCOUTING」2022年3月号(No.748)P12～P13

- ①自然体験活動をスカウト募集に活かすポイントー大分県連盟の取り組み
 - ・加盟員減少地域で実施
 - ・メディアを巻き込んだ自然体験活動を
 - ・保護者にもプログラムを提供
 - ・2021年度の取り組み実績
 - ・学校を通じたチラシの配付

「自然体験あそびインフォメーション」第2号(令和3年11月30日発行)

- ①事業を実施する上でのポイント
 - ・スカウトを中心とした運営
 - ・受付後の時間の有効活用
 - ・親しみやすいセレモニー
 - ・保護者にもスカウトと同じ体験を
 - ・毎回の隊集会在が自然体験あそび
 - ・大切なアフターフォロー
- ②令和3年11月30日現在の会場登録数など

「自然体験あそびインフォメーション」第3号(令和3年12月24日発行)

- ①岡山連盟西大寺第1団の事業「親子でハイキング」の視察レポート
 - ・部門別体験プログラム
 - ・ボーイ・ベンチャー・ローバースカウトの活躍
 - ・体験のお子さんはスカウトと一緒に
 - ・体験後のアフターフォローで入団につなげる
- ②これまでの参加申込み状況から
 - ・参加申込みの際によくある質問
 - ・定員オーバーが顕著な例
 - ・チラシ配付から応募まで
- ③令和3年12月24日現在の会場登録数など

「自然体験あそびインフォメーション」第4号(令和4年1月31日発行)

- ①大分県連盟で実施した「ワクワク自然体験あそび」の視察レポート
 - ・一過性でない地域・行政との連携強化
 - ・コロナ禍で有効な親子同伴のポイントラリー方式
 - ・スカウトの見える化の工夫
 - ・加盟員減少地域で県連盟挙げて実施
 - ・保護者向け体験プログラムの仕掛け
- ②令和4年1月31日現在の会場登録数など

来年度の「ボーイスカウトとあそぼう！自然体験あそび」は、4月下旬から3月までほぼ通年開催できるように準備を進めています。

4月2日(土)の午前と午後に県連盟を対象とした説明会を開催しますので、県連盟の御担当者は、どちらかにお出席をお願いします。詳細は別途お知らせします。